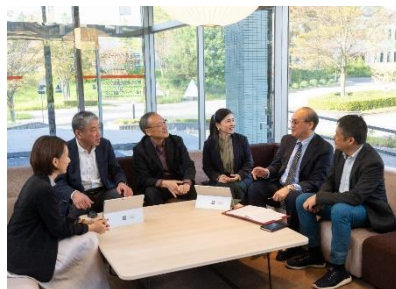


大学名 北陸先端科学技術大学院大学

表題 URAによる地域連携活動と産学官金連携マッチングイベントMatching HUBの開催

本学の産学官連携活動のベースはURAによる直接的な訪問活動です。この活動で、ニーズやシーズを収集し、本学教員等とのマッチングを行っています。これまでに、約1600社・機関のデータベースを構築しています。また、本学の他、他機関とのマッチングを推進するMatching HUBを開催しています。



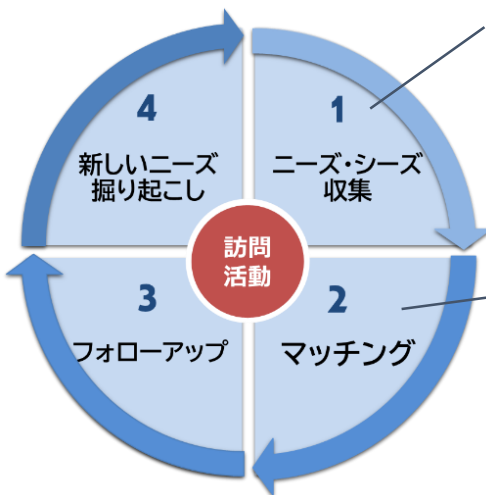
■ URAによる直接的な訪問

北陸地域を中心に全国の企業や機関、大学を訪問
訪問数:500社・機関以上/年

約1,600社・機関データベース構築

■ 多様なマッチング機会の創出

- ①本学教員とのマッチング
- ②他機関とのマッチング
・北陸地域の大学、工業試験場、企業、支援機関とマッチング
・Matching HUBの開催



Matching HUB® 展示会形式の産学官金連携オープンイノベーションイベント

URAやコーディネーターが集めた地域の大学や企業などのニーズやシーズ、行政や金融機関などからの支援を集約し、マッチングさせることで新製品・新事業につながる「種」を数多く同時に作るコンセプトに基づくシステムです。

Matching HUB® Hokuriku

	出展ブース数	参加者数名
2014年度(第1回)	166	717
2015年度(第2回)	226	1,350
2016年度(第3回)	271	1,671
2017年度(第4回)	250	1,290
2018年度(第5回)	235	1,370
2019年度(第6回)	235	1,431
2020年度(第7回) コロナ禍	102	1,153
2021年度(第8回) コロナ禍	162	1,454
2022年度(第9回) コロナ禍	203	1,634
2023年度(第10回)	225	1,636

- ニーズとシーズのマッチングの場
- 出展者同士のマッチングが中心
- 当日のURAによるマッチング支援
- 北陸地域の活性化と人材育成を目的に2014年度から毎年開催(10回開催、参加者数1600名規模)



復興支援タスクフォース

産学連携部門にURAをメンバーとして、令和6年能登半島地震に関する復興支援タスクフォースを立ち上げ、被災された地域企業の復興支援に取り組んでいる。具体的には、熊本地震からの復興支援を目的として活動した経験を活かして、能登地域のMatching HUBに出展経験のある企業を中心に、ニーズ調査を実施し、復興を目的とした能登地域でのMatching HUB開催に向けて活動を推進している。

Matching HUB® 11/12(火)-13(水)
(会場) ANAクラウンプラザホテル金沢

